

モニタリングシート（院・食物専攻）

No.	モニタリング項目	データ	データから見る点検結果（概要）	課題	改善へのアクション
1	前年度の向上・改善施策の実施状況（成果・課題・継続事項）はどのような状況であるか。	点検・評価課題に対する向上・改善施策	前年度の会議から示された点は、入学者充足率が年度毎に変動していることから、定員の充足に向けて抜本的な大学院改革を行い改善する必要があるということであった。	現在のカリキュラムは長い間見直しがされておらず、単位数や必須科目が多いため、院生と教員双方の負担が大きくなる傾向にある。	現在、検討されている「大学院改革試案」に基づき、カリキュラムの見直しや教育課程の充実を図るとともに、大学院の魅力について学内外への周知活動を行う。
2	定員充足の状況はどのような状況か。	定員充足率データ	引き続き、定員充足に向けて、大学院説明会などを行う。	2023年度は定員未充足の状態である。（1回生3名【定員6名】）	従来の大学院説明会実施に加え、今年度から大学院紹介ビデオ作成を作成する。また大学院担当教員が授業内などで研究内容を紹介し、大学院に対して学部生に積極的に興味を持ってもらう。
3	DP・CPと関連したカリキュラムが適切に設計されているか。	履修要項等の各種データ	DP・CPは、関連を意識しており、カリキュラムや単位取得基準もDP・CPに基づいた体制になっている。	食物の大学院のDP・CP自体が現在の教育の実態に適合していない部分がある。	DP・CPとそれに伴うカリキュラム体制の見直しが必要である。
4	DPに沿って設定された各学位プログラムレベルにおけるカリキュラムについて、適切に実施されているか。	・履修状況等の各種データ ・大学院アンケート結果	大学院の講義担当は、学内の教員だけでなく、食物各分野の第一人者を積極的に招聘し、特別講義や集中講義を実施している。食物に限定されていないが、アンケート結果では、授業内容について概ね適切な評価が得られている。	カリキュラムの見直しが長年行われておらず、現状の指導と乖離しているところもあるため、院生及び教員の双方に負担がかかることがある。	「大学院改革試案」に基づき、共通・横断的な「基盤科目」の考え方を導入し、研究及びキャリア形成のバランスの取れた柔軟性のあるカリキュラムを作成する。
5	学修成果の到達度の把握はどのようにおこなっているか。	学修成果の把握の取り組み等 大学院アンケート結果	2022年度は研究内容について、国際学会を含む複数の学会発表及び国際誌を含む複数の論文発表が行われた。またアンケート結果では、授業レベル、履修指導、研究指導について概ね適切な評価が得られた。	特になし	引き続き、研究内容についての学会発表や論文発表を積極的に行う。
6	各科目の成績および論文・研究が適切に評価されているか。	・成績評価に関する取り組み等 ・大学院アンケート結果	成績評価については、大学院アンケートで8割以上が「適正に評価されている」と回答し、評価については概ね適切であったと思われる。	特になし	引き続き、適正な成績評価についての取り組み等を行う。

No.	モニタリング項目	データ	データから見る点検結果（概要）	課題	改善へのアクション
7	職位構成・年齢構成のバランス、非常勤比率に留意し、かつカリキュラムに基づく教員組織となっているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・所属教員の状況 ・科目群別非常勤比率 	2022年度は、指導教員12名、指導補助教員1名、授業担当教員1名であり、年齢構成は40～60代、職位は教授、准教授、講師から構成されており、男女比もほぼ1：1であることから、バランスに配慮された教員組織編成である。また、大学院の非常勤比率は13.0%であり、特に過剰とは言えない。	特になし	特になし
8	課題認識および外部環境を踏まえた独自のFD活動を実施できているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・FDの取り組み状況 ・前年度点検シート ・点検・評価課題に対する向上・改善施策 	2022年度は学科のFDと共同で、大学改革推進室(FD対応部署)との相談の下、アカデミックハラスメント研修会を行った。	大学院は学部に比べて教員との距離が近くなることが多い。アンケートでは、約14%がアカハラを受けたと感じたと回答している。	引き続き、FDなどでハラスメント研修会を定期的を開催する。
9	上記以外で「継続すること」「課題」「次へのアクション」「全学レベルで検討すべき事項(提案)」があれば入力。	<ul style="list-style-type: none"> ・各種データ 	特になし	特になし	「大学院改革試案」に基づき、特色ある研究科づくりを進める。